HASSELBLAD

H4D簡易取扱説明書

1 セレクト（+/−ボタン）/ ズームイン・アウトボタン

プレビュー画像用のズームイン / アウト（拡大縮小表示）ボタンです。利用可能な画像バッチやメディア、及びメニューで設定する値を表示するときの選択ボタンとしても使用されます。

2 ナビゲーションボタン

プレビュー画像を順次切替えてメニューシステムをナビゲートすることができる４方向のロッカーボタンです。これを使用する時は、実行したい内容に対応するボタンの端を押します。

3 メニュー / 終了ボタン

メニューシステムを開いたり、閉じたりします。プレビュー画面上のボタンの傍にあるラベルで表示されるメニューシステムでコマンドを送出する時は、他の様々なタスク（終了ボタン等）にも使用される。

4 液晶画面

明るい場所でも広い視野角で、プレビュー画像とメニューシステムを表示します。

5 インスタントアプルーバル /OK ボタン

このボタンは、３つの承認レベルを順次切替えする事によって、プレビュー画面（インスタントアプルーバルアーキテクチャシステムの一部）で現在表示（または選択）されている画像に、承認ステータスを割当します。カラーコードは、青・黄・赤と交通信号と同じです。
また、画像削除など、何種類かのメニュー操作に対する確認ボタン（OK ボタン）としても使用され、メニュー操作の種類がプレビュー画面上のボタンの傍にあるラベルに表示されます。

6 パワー・インジケータ

デジタルバックが準備中の場合は、オレンジ色に点灯し、準備が完了すると、緑色に点灯します。

7 表示モードボタン

プレビュー画面に関して、標準やヒストグラムオーバーレイ、画像ディテール、スクリーンオフ、及びフルスクリーンといった各種情報表示モードを順次切替えます。

8 フラッシュカードスロット

ここに、コンパクトフラッシュカード（CF カード）を挿入します。

9 フラッシュカード取外しボタン

このボタンで、挿入されている、コンパクトフラッシュカードの取外しを行います。

10 フラッシュカードスロットカバー

フラッシュカードのスロットを覆って保護します。

11 フラッシュシンクイン端子

フラッシュシンクケーブル経由でデジタルバックへ接続するための端子です。ゴム製カバーで、保護されています。

12 フラッシュシンクアウト端子

フラッシュシンクケーブル経由でレンズのシンクロ接点（B 接点）へ接続するための端子です。ゴム製カバーで、保護されています。

13 FireWire コネクター

FireWire ケーブルをここに挿入して、センサーユニットをコンピューターに接続します。センサーユニットには、800 コネクターが必要ですが、コンピューターには、800 コネクターか 400 コネクターのどちらでも使えます。

コンパクトフラッシュカードの使い方

1

コンパクトフラッシュカードで撮影する時は、H４D に配線やコネクターを新たに接続する必要はありません。
H４D は、コンパクトフラッシュカードが同梱されています。画像は、ロスレスで圧縮されるため、各写真の実際のファイルサイズは変動し、これによってカードに収まる写真の総数が影響を受けます。場合によっては、更に大きな容量のカードも追加購入でき、各カードが一杯になった時に、これらを交換することができます。

2

CF カードの挿入

1 , CF カードスロットカバーを開きます。

2 , CF カードを持ち、画像のようにブランドラベルを表に向けます。
ゆっくりと確実にカードを挿入して下さい。
その際、抵抗を感じましたら、カードが前後、あるいは上下逆に向いている可能性があります。

3

3 , CF カードが完全に挿入されたらスロットカバーを閉じます。

CF カードの取外し

1

1, CF カードスロットカバーを開きます。
（赤い丸で囲まれたのが、CF カード取出しボタンです。）

2

2, ゆっくりと CF カード取外しボタンを押して、指を離します。

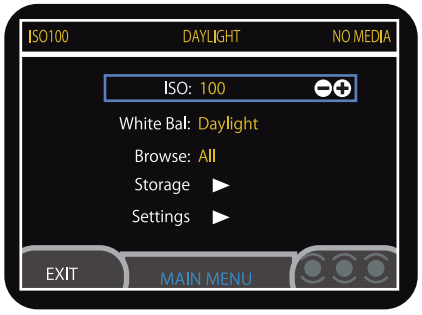
3

3, CF カード取外しボタンが、飛出したら、再度しっかりと CF カード取外しボタンを押します。

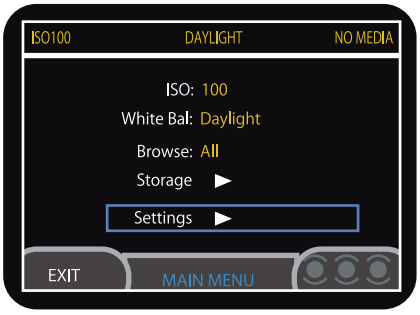
4

4, CF カードが取り外せます。

言語設定

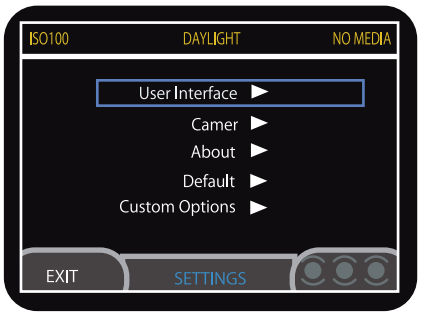


1　メニューボタンを押します。



2　ナビゲーションボタン ▼ を押し「Setting」までカーソルを移動させます。

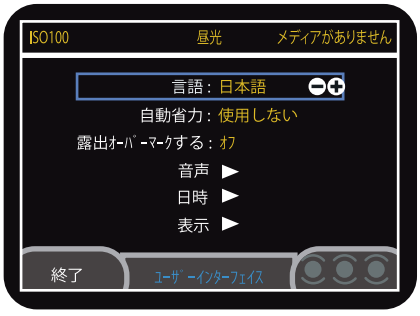
3　「Setting」を選択、ナビゲーションボタン ▶ を押します。



4　ナビゲーションボタン ▶ を押します。

5　日本語に設定したい時はセレクトボタン ＋ － どちらかを押して「日本語」を選択します。

＊セレクトボタン ＋ － を押すことにより言語を変更することができます。



6　日本語表示となります。

7　メニューボタンを押して終了させます。

ホワイトバランス設定

1　メニューボタンを押します。

2　ナビゲーションボタン ▼ を押し「ホワイトバランス」までカーソルを移動させます。

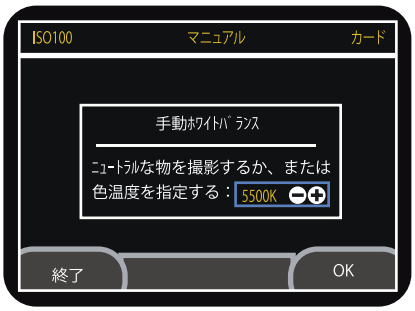
3　「ホワイトバランス」を選択、ナビゲーションボタン ▶ を押します。

4　セレクトボタン ＋ ー を押し、使用するホワイトバランスにあわせます。

＊タングステン/蛍光灯/フラッシュ/日陰/曇天/
昼光/マニュアル/

5　マニュアルの場合、セレクトボタン ＋ ー を押し、マニュアルにあわせます。

6　ナビゲーションボタン ▶ を押します。



7　ニュートラル（グレー）な物を、ファインダーの中心に合わせて撮影を行うと、色温度が自動で設定されます。もしくは、セレクトボタン ＋ ー で、色温度を任意の数字に合わせます。

8　メニューボタンを押して終了させます。

ISO 設定

1　メニューボタンを押します。

2　ISO400 に設定する場合はセレクト
ボタン ＋ ー を押して設定してください。

3　メニューボタンを押して終了させます。

カードフォーマット

＊新しい CF カードを本機で使用す場合、必ず下記のフォーマットを行って下さい。

1　フォーマットしたいCFカードを本体に装着します。

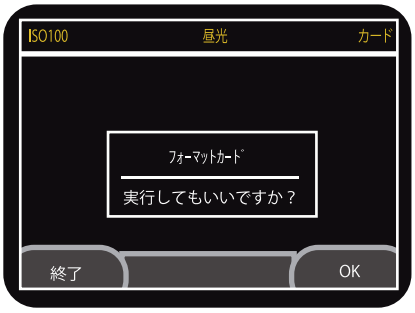
2　メニューボタンを押します。

3　ナビゲーションボタン ▼ を押し「ストレージ」
までカーソルを移動させます。

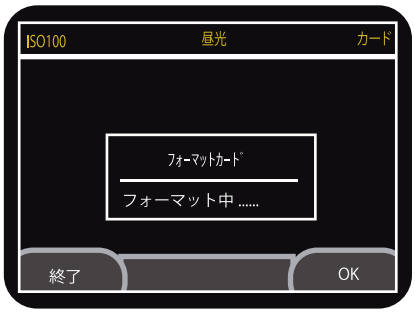
4　「ストレージ」を選択、ナビゲーションボタン ▶
を押します。

5　ナビゲーションボタン ▼ を押し「フォーマット」
までカーソルを移動させます。

6　「フォーマット」を選択、ナビゲーションボタン ▶
を押します。



7　インスタント アプルーバル(OK)ボタン
を押します。



8　「フォーマット中 ....　」と表示されます。

9　パワーインジケーターのランプが赤
から緑になれば、フォーマット終了です。

10　メニューボタンを押して終了させます。

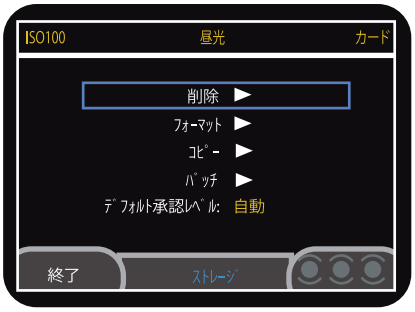
画像の削除

1 削除したい画像を選びます。

2 メニューボタンを押します。

3 ナビゲーションボタン ▼ を押し「ストレージ」までカーソルを移動させます。

4 「ストレージ」を選択し、ナビゲーションボタン ▶ を押します。



5 「削除」を選択し、ナビゲーションボタン ▶ を押します。

6 セレクトボタンで、削除の範囲を選びます。

7 インスタントアプルーバル（OK）ボタンを押します。

8 メニューボタンを押して終了させます。

画像の削除（ショートカット）

1 削除したい画像を選びます。

2 ナビゲーションボタン ▼ を長押しします。
（約３秒間ぐらいです。）

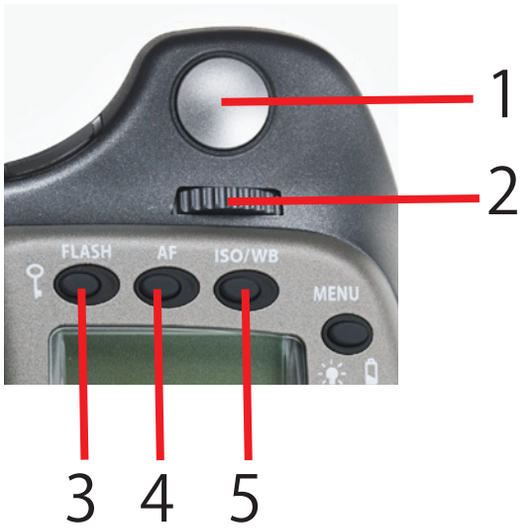
3 セレクトボタンで、削除の範囲を選びます。

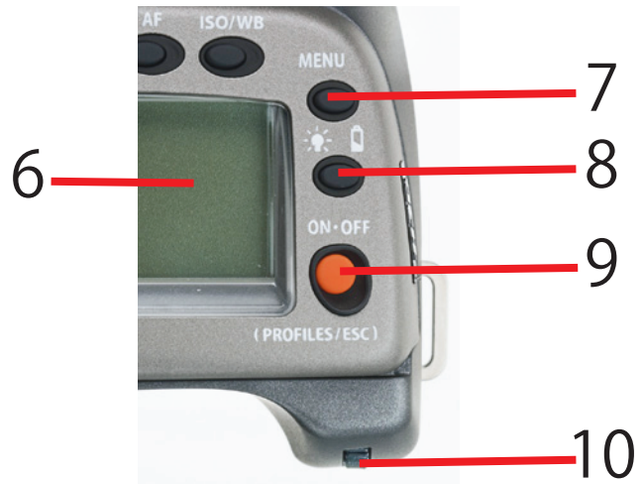
4 インスタントアプルーバル（OK）ボタンを押します。

5 メニューボタンを押して終了させます。

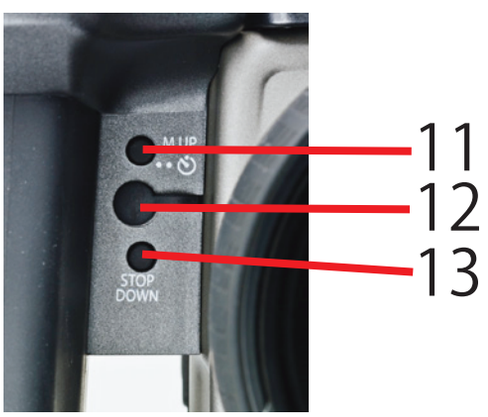
H4D ボディ

グリップ上部

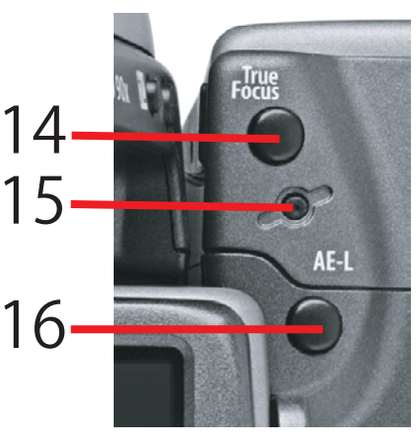




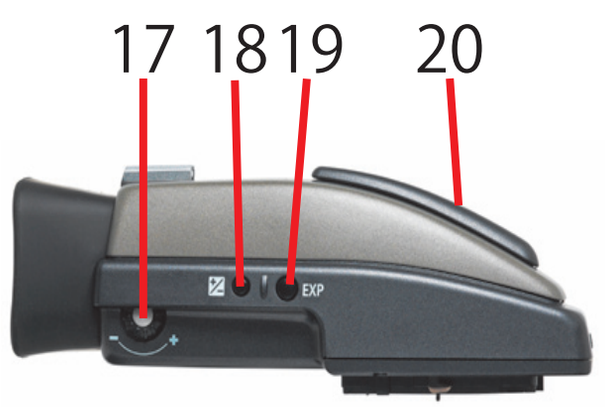
グリップ前部

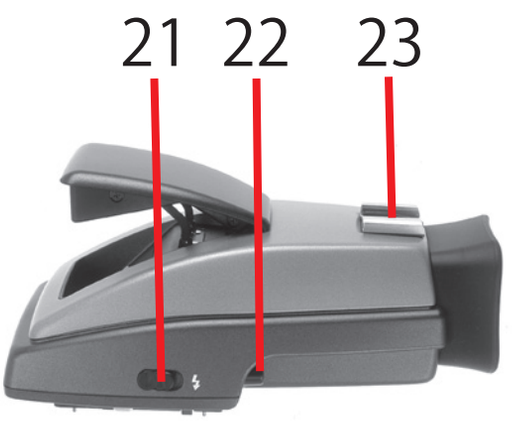


グリップ後部



ビューファインダー





1 シャッターボタン

半押しで、オートフォーカスのピント合わせを行います。それより深く押す事で、シャッターが切れます。

2 フロントコントロールホイール

左右の矢印表示（◀▶）の際に、回して選択をします。
マニュアルの時は、絞り値の設定を行えます。

3 フラッシュ / コントロールロック（戻る）ボタン

短く押すと、ストロボ設定が行えます。1 秒間押し続けると、シャッターボタン以外のボタンが、ロックさせれます。再度、1 秒間押し続けると、ロックは解除されます。
また、センサーユニットメニューの設定の際は、戻るボタンとして機能します。

4 オートフォーカス（セレクト）ボタン

オートフォーカス / マニュアルフォーカスの選択を、行うボタンです。
また、センサーユニットメニューの設定の際は、セレクトボタンとして機能します。

5 ISO 感度 / ホワイトバランス（保存 / 進む）ボタン

ホワイトバランスと ISO 感度の設定を行えます。
また、センサーユニットメニューの設定の際は、保存 / 進むボタンとして機能します。

6 液晶画面（モノクロ表示）

絞り値、シャッタースピード、EV 値や測光モード等を表示します。

7 メニューボタン

設定変更を行う際は、このボタンを押して、各種設定を行います。

8 バックライト / バッテリーチェックボタン

液晶画面のバックライトを、点灯させます。
また、押し続けると、バッテリーの残量とカメラの現在のファームウエアを表示します。

9 電源 / プロファイル（取消）ボタン

1 秒間押し続けると、電源の ON/OFF を行います。デジタルバックも連動して、電源が入ります。
また、電源が入っている状態で、もう一度このボタンを押すと、カメラを設定したプロファイルに変更する事ができます。カメラの設定を出荷時に戻すこともできます。

10 リアコントロールホイール

上下の矢印表示（▲▼）の際に、回して選択をします。
マニュアルの時は、シャッタースピードの設定を行えます。

11 ミラーアップボタン

一度押すと、ミラーが上がります。再度、押すとミラーが下がります。
また、連続して 2 回（0.5 秒内に 2 回）押すと、セルフタイマーの機能になります。

12 リモートレリーズコードポート

ハッセルブラッドから出ています『レリーズコード H（＃43370）』を、ここに繋ぎます。
ゴム製のカバーで、保護されています。

13 ストップダウンボタン

35mm 判カメラでは、プレビューボタンと一緒の機能です。
ボタンを押し続けている間、レンズの絞り羽根が閉じ、被写界深度の確認が出来ます。

14 トゥルーフォーカスボタン

トゥルーフォーカスの機能を有効にします。

15 フォーマットボタン

CF カードをフォーマットします。誤作動を、防止するために凹んでいます。

16 AE ロックボタン

プログラムやマニュアルで測光した露出を記憶します。

17 視度調整ダイヤル

－5～＋3.5 の間で、ファインダーの視度調整が行えます。

18 露出補正ボタン

このボタンを押した後に、フロント / リアホイールを操作すると、露出補正が行えます。
露出補正を行いますと、グリップ上の画面とファインダー内に、EV 補正マークが表示されます。

19 EXP（測光方式 / 露出モード）ボタン

このボタンを押した後に、フロント / リアコントロールホイールを操作すると、
露出モードと測光方式の変更が行えます。
グリップ上の画面とファインダー内に、表示されます。

20 内蔵ストロボ

ガイドナンバー：12（ポップアップ式内蔵ストロボ）
照射角：56°（水平方向）
　　：44°（垂直方向）
色温度（フル発光時）：5000〜5600°K

21 ストロボ解除ボタン

内蔵ストロボを使用する際に、このボタンを、デジタルバック側にスライドさせますと、
上のストロボが、ポップアップで出てきて、使用可能となります。

22 ビューファインダー取外しボタン

このボタンを押しながら、ビューファインダーを上に持ち上げると、ビューファインダーを、
カメラボディから取外せます。
デジタルバックを外す時や、フォーカシングスクリーンを交換する際に使用します。

23 ホットシュー

アクセサリーや他社製品のストロボなどを、取付けることが出来ます。

バッテリーグリップの取外し方

1、バッテリーホルダーボタン（A）を押します。
2、同時に、バッテリーグリップ保持レバー（B）を、
回転が止まるまで、下に 90° 回転させます。
3、バッテリーグリップを、下に引き抜きます。（C）

バッテリーグリップの格納方法

・バッテリーグリップを、カメラと別々に格納する場合は、
ショートを防ぐために、バッテリーグリップにバッテリーカバーを、必ず装着して下さい。
・バッテリーカバーを外すには、カバーを左の図のように、
外側と上方に、引っ張って外します。

バッテリーグリップの取付け方

1、バッテリーグリップの平な面と、カメラ側を合わせます。
2、そのまま、図のように、上方に、一番奥までスライドさせます。
3、バッテリーグリップ保持レバーを、上に 90° 回転させて、
バッテリーグリップを止めます。

バッテリーグリップの充電

1、バッテリーグリップを、カメラから外します。
2、バッテリーグリップと充電器のプラグを、
左の図の赤丸印のところと、繋げます。
3、コンセントに繋ぎ、充電が開始されます。
（始めの 1 回目は、必ず 12 時間充電して下さい。）

充電器のランプは、下記を意味します。

（黄色ランプ点灯） → スタンバイ
（黄色ランプ遅い明滅） → プレ充電

（緑色ランプ早い明滅） → 充電中（75% 以下）
（緑色ランプ遅い明滅） → 充電中（75% 以上）
（緑色ランプ点灯） → 完了 （100%）

（黄色ランプ早い明滅） → 異常状態

測光方式と露出モード

測光は、TTL 方式で AE ビューファインダーによって行われます。
一般的な撮影の場合、フィルター、レンズの繰出し量、あるいはエクステンション
チューブ等の露出倍数は、自動的に補正され良好な結果が得られます。
しかし、微妙な露出の撮影には、段階露光をお勧めします。

Centre Weighted
(23 x 20 mm)
平均測光

平均測光

特段の優位性がなく、平均的に測光します。
画面の約 25% を測ります。

CentreSpot
(23 x 20 mm)
中央重点測光

中央重点測光

スクリーン上の中央部を重点的に測光します。
画面の約 25% を測ります。

Spot
(diameter 7.5mm)
スポット測光

スポット測光

スクリーン上の中央部のみを測光します。
画面の約 2.5% を測ります。

測光方式の設定

1、左の図の EXP ボタン（19）を押します。
2、リアコントロールホイール（10）を動かして、測光方式を選びます。
3、ISO 感度 / ホワイトバランスボタン（５）を押して、設定を保存します。

［M］マニュアル

絞りとシャッタースピードを任意に変えられます。

［A］絞り優先 AE

絞りを変えると、シャッタースピードが、
自動的にカメラ側で決定します。

［S］シャッタースピード優先 AE

シャッタースピードを変えると、絞りが、
自動的にカメラ側で決定します。

［P］プログラム AE

絞りとシャッタースピードを、カメラ側で、
決定します。

［Pv］プログラム・バリアブル AE

レンズの焦点距離を考慮して、カメラ側で、
絞りとシャッタースピードを決めます。

露出モードの設定

1、左上の図の EXP ボタン（19）を押します。
2、フロントコントロールホイール（２）を動かして、露出モードを選びます。
3、ISO 感度 / ホワイトバランスボタン（５）を押して、設定を保存します。

露出補正の設定

－ 5 EV から＋ 5 EV の範囲内で、1/3・1/2・１ステップ刻みで、
露出補正を設定する事が出来ます。

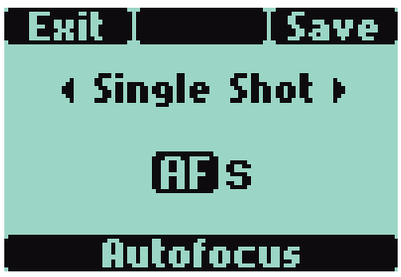
1、右の図の露出補正ボタン（18）を押します。
2、フロント / リアコントロールホイール（２/10）を動かして、
　希望の EV 値を決めます。
3、ISO 感度 / ホワイトバランスボタン（５）を押して、設定を保存します。
4、ファインダー内の表示（左の図）も確認して下さい。
※０EV に戻す時は、オートフォーカスボタン（4）を押します。

マニュアル（MF）/ オートフォーカス（AF）の設定

1、オートフォーカスボタン（4）を押します。
2、フロントコントロールホイール（2）を動かし、希望のフォーカスモードを選びます。
3、ISO 感度 / ホワイトバランスボタン（5）を押し、設定を保存します。

［MF］マニュアルフォーカス　モード

レンズのラバー部を自分で動かして、ピントを合わせます。
シャッターボタンを半押ししても、ピントは動きません。

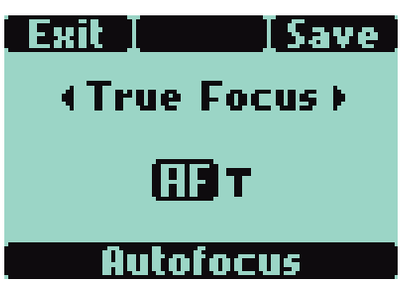


［AF S］オートフォーカス　シングルショット　モード

このモードの時は、合焦しないと、シャッターを切れない様になっております。
また、このモードでシャッターボタンを半押しのまま、維持しますと、フォーカスロックが行えます。

［AF C］オートフォーカス　コンティニュアス　モード

このモードでは、合焦しなくとも、シャッターを切る事ができます。
シャッターボタンを半押しで、合焦し、さらに押し込むと、
シャッターが切れます。
また、シャッターボタンを半押しのままにしますと、スクリーン上の測距マーク内の被写体をフォーカシングし続けます。

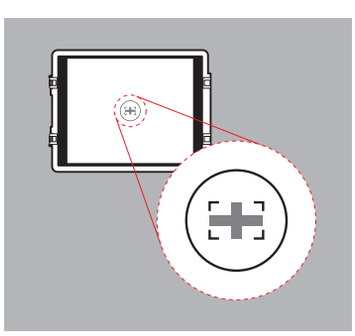


［AF T］オートフォーカス　トゥルーフォーカス　モード

このモードでは、トゥルーフォーカスボタン（14）を押して、
シャッターを切ると、トゥルーフォーカスが効いた画像が、
とれます。

マニュアル・オーバーライド

AF モードの時に、特に設定等をしなくとも、手動でレンズ鏡胴を、回転させることで、いつでもマニュアルでピントを合わせられます。
また、一度シャッターボタンから指を離し、再度シャッターボタンを半押しすると、AF モードが復活します。



※オートフォーカスや TTL 測光等は、左の図にあるように、スクリーン上の長方形の枠内で、計測しています。よって、オートフォーカス等は、
必ず被写体のピントを合わせたい所に、長方形の枠が収まるようにして、
オートフォーカスをお使いください。
スポット測光は、円内で測光しております。

（ピントが遠過ぎます）

（ピントが近過ぎます）

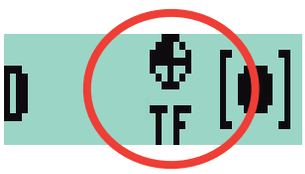
（ピントが合っています）

フォーカス・アシスト

フォーカシング・スクリーンを見ながらピントを合わせる方法がありますが、ファインダー内にあります LED がフォーカス・エイドの役割を果たします。マニュアルで、ピントを合わせる際に、補助的手段として活用してください。（ビューファインダー内のみに表示されます。）

トゥルーフォーカス

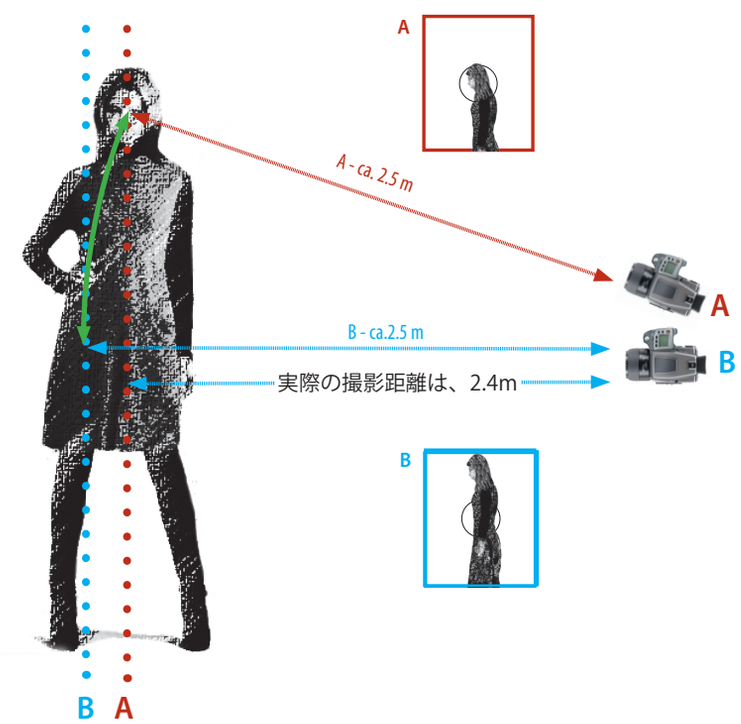
ファインダー内表示



グリップ後部

1、ファインダーの中心を、被写体（ピントを合わせる所）に向けます。
2、左下の図のグリップ後部にある『TrueFocus ボタン（14）』を押し、ファインダー内に表示されるトゥルーフォーカスアイコン（左の丸印）と、［ピッ］音を確認します。
3、トゥルーフォーカスアイコンが、回っている間に、カメラを任意の位置に動かします。
4、位置を決めたら、シャッターボタン（1）を押し、シャッターを切ります。
5、トゥルーフォーカスボタン（14）を押した所にピントが合った画像が、撮影できます。

※トゥルーフォーカス機能は、下の図のように、コサイン誤差を修正して、ピント調整をする機能です。
（カメラを上下に振った際に生じる、微妙な撮影距離を修正する機能です。）
カメラの前後の動きには、対応しておりません。カメラが前後に動きますと、トゥルーフォーカス機能使用でも、ピントが合わない可能性があります。

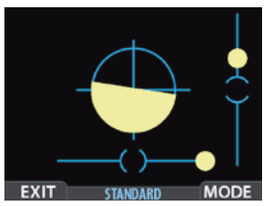


※※A の撮影距離と B の撮影距離が微妙に異なります。
この撮影距離を修正する機能が、トゥルーフォーカス機能です。

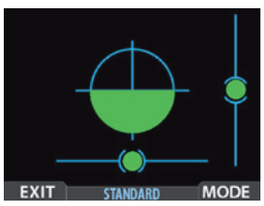
スピリットレベル

（H4D-40/50/60/50MS/200MS のみ使用可能）

（A）カメラが通常の位置



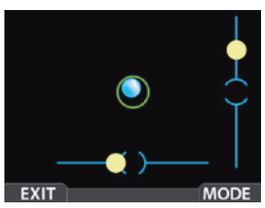
傾いています。



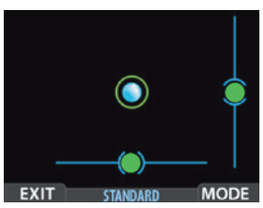
傾いていません。

1、任意でスピリットレベルを設定したボタンを押します。
2、デジタルバックの液晶画面にデジタル水準器が表示されます。
3、カメラが傾いている時は、黄色の表示。
　水平垂直が出ている時は、緑色に表示されます。
4、カメラが俯瞰の時は、左の図の（B）の様に表示されます。

（B）カメラが俯瞰の位置



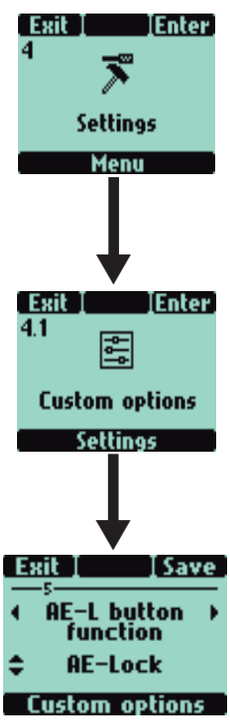
傾いています。



傾いていません。

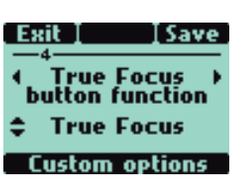
※ビューファインダー内の表示は、水平のみの表示となります。

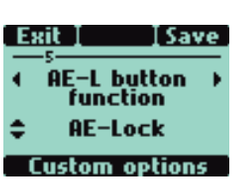
スピリットレベルの設定



1、メニューボタン（7）を押し、フロントコントロール
　ホイール（2）を回します。
2、左の図の『4、Settings』を選び、保存 / 進むボタン（5）
　を押します。
3、左の図の『4.1 Custom Options』を選び、保存 / 進むボタン（5）
　を押します。
4、スピリットレベルを設定させたいボタンを選び、
　リアコントロールホイール（10）を回し、『Spirit Level』を
　選びます。
5、保存 / 進むボタン（5）を押します。
6、設定後、選んだボタンが『スピリットレベル』を表示するボタン
　となります。

※設定後、このボタンは、以前の機能は割り振れていません。





※設定できるボタンは、『トゥルーホーカスボタン（14）』
『AE ロックボタン（16）』『ストップダウンボタン（13）』
『ミラーアップボタン（11）』の４つボタンのどれかに
割り振ることが出来ます。左の図を参照。